群馬県・磯部温泉

ホテル磯部ガーデン

4カ所の大浴場で湯巡り

「舌切雀の伝説」が生まれた地で知られる群馬県磯部温泉のホテル磯部ガーデン(櫻井丘子社長)は、4カ所の大浴場と露天風呂付き客室を備える温泉自慢の宿。館内にいながらにして湯巡りを楽しめる。

大浴場は男性用、女性用、それぞれ2つずつ。内湯4つ、露天風呂8つ、計12個の浴槽を備えている。

2階大浴場「楽山の湯(男、女)」は、05年にリニューアルオープンした。思い切り手足を伸ばせる湯船に、男性用、女性用、それぞれに趣の異なる露天風呂を備える。男、女とも同じ広さにしているのが昨今のニーズにマッチしていてうれしい。

1階大浴場「楽水の湯(男、女)」は、特に露天風呂がお薦め。香り豊かな檜風呂をはじめ、野趣あふれる岩風呂など、男女合わせて6つの湯船が並ぶ癒しの空間だ。

露天風呂付き客室は10室備えた。木の香りが心地よいひのき風呂や、信楽焼風呂など、各種タイプをそろえている。赤城山、榛名山、妙義山の「上毛三山」を一望するなど、眺望も自慢だ。

磯部は古くから湯治場としてにぎわっていたが、天明3年(1783)の浅間山大噴火で湧出量が飛躍的に増え、今日までの発展をしたと言われている。

温泉の成分は重曹食塩泉。特に神経痛、胃腸病に効果があると言われる。

磯部は温泉マーク発祥の地としても知られる。地元農民の土地を巡るいさかいに対して出された幕府の判決文に、現在使われている温泉マークが記され、これが日本最古の温泉マークとして認められている。

東京から新幹線で約1時間という便利なアクセスから、「温泉会議力」と銘打ち、企業に対して宿泊を伴った会議利用も呼び掛けている。

▽群馬県安中市磯部1―12―5。☎027・385・0085。http://www.isobesuzume.co.jp/

ホテル全景

1階露天風呂

群馬県・磯部温泉

磯部館

群馬県の仕上げの湯

ホテル磯部ガーデンの姉妹館、磯部館(櫻井太作社長)は、江戸時代からこの地で旅館を営む老舗だ。美しい日本庭園が四季折々の姿を見せ、訪れた人の目を楽しませている。

碓氷川のせせらぎと絶景の見える大浴場「碓氷の湯」「透磁の湯」が同館自慢の施設。四季の彩りを感じながら「群馬県の仕上げの湯」と呼ばれる温泉を思う存分満喫できる。碓氷の湯にはマッサージ効果がある打たせ湯もある。男女入れ替え制なので、1泊の滞在で誰もが利用できる。

風呂をプライベートで楽しみたい向きには客室露天風呂がある。ゆったり、たっぷりの部屋付き風呂で、身も心もリフレッシュできる。

平成8年に掘削された天然温泉を源泉から引いて利用している。磯部はもともと温度の低い鉱泉だったが、新たな掘削で52・6度の熱い湯が毎分150トンわくようになった。泉質は重曹食塩泉。やけど、切り傷、慢性婦人病などに効果があるという。

▽群馬県安中市磯部1―5―5。☎027・385・6411。http://www.isobekan.com/

大浴場

群馬県・伊香保温泉

岸権旅館

源泉100%のかけ流し

石段の温泉街で知られる群馬県伊香保温泉の岸権旅館(岸権三郎社長)は、天正4年(1576)創業、現在の当主が20代目となる老舗の温泉旅館だ。本館、離れ、浴室棟と合わせて10種類の風呂があり、温泉はすべて源泉100%、かけ流しで使っている。

伊香保温泉全湧出量の約1割に当たる、毎分約400トン強の湯量を有している。そのため温泉を水で薄めたり、循環をしたりする必要がないわけだ。

施設は石段街と上毛の山々を一望する、眺望にこだわった浴室棟の展望風呂「六左衛門の湯」、離れの露天風呂「権左衛門の湯」、本館大浴場「又左衛門の湯」。浴室棟には貸し切りの展望風呂もある。いずれも伊香保の由緒ある源泉「黄金の湯」を惜しげもなくかけ流しで使っている。

泉質は硫酸塩泉。湯の中に含まれる鉄分が空気に触れて酸化して、独特の茶褐色となるのが特徴。神経痛、筋肉痛、慢性消化器病など、様々な疾病に効くと言われる。

▽群馬県渋川市伊香保町伊香保甲48番地。☎0279・72・3105。http://www.kishigon.co.jp/

権左衛門の湯(秋)

山梨県・富士河口湖温泉郷

風のテラスKUKUNA

雄大な景色広がる露天

山梨県富士河口湖温泉郷の風のテラスKUKUNA(宮下明壽社長)は、河口湖と富士山を一望する眺望自慢の宿。全客室にテラスを装備して、抜群の景色を心ゆくまで楽しめるように配慮している。

一風変わった名前「KUKUNA」はハワイ語で「日の光」を意味する。ハワイ、マウイ島のホテルに勤務経験がある現社長が、「さんさんと降り注ぐ陽の光を浴び、明るく楽しいリゾートの雰囲気を満喫してもらいたい」との思いを込め、明るく、心のこもったサービスを提供している。

温泉施設は最上階9階にある大空の湯「月」と「星」。それぞれ、雄大な景色が目の前に広がるパノラマ展望大浴場と、「まるで天空に浮かんでいるよう」と形容される露天風呂を備える。「月」は半身浴とドライサウナ、「星」は立湯とスチームサウナも装備。男女入れ替え制なので2つの施設を1回の滞在で楽しめる。

湯上がり処「風のテラス」では、冷たい富士の名水を用意。絶景を眺めながらほてった体をいやしてもらう。

ゲストルームでは、「展望館」7、8階が露天風呂の付いた特別室。広めのテラスに付いた露天風呂は、絶景を独り占めにできるぜいたくな空間だ。

エステサロン「Liko(ハワイ語でつぼみの意味)では、フェイシャルエステからボディトリートメントまでメニューを多彩に取りそろえている。マッサージ「Healing(ハワイ語で癒しの家の意味)は、湯上がり後気軽に立ち寄れるクイックマッサージ。リラクゼーション施設も充実している。

▽山梨県南都留郡富士河口湖町浅川70。☎0555・83・3333。http://www.kawaguchiko-hotel.co.jp/

大空の湯

露天風呂付きテラスルーム

群馬県・伊香保温泉

権左衛門の湯(秋)

岐阜県・高山温泉

本陣平野屋 花兆庵

古都の風情があふれる

本陣平野屋花兆庵(有巣秀司社長)は、飛騨の小京都、高山の中心に建つ古都の風情あふれる宿。心を込めたおもてなしで静謐な時間を提供する。

湯量豊富な温泉は、花兆庵の内風呂「石橋の湯」、別館の「月あかりの湯」(男性用)、「きらきらの湯」(女性用)のほか、別館最上階にある男性専用露天風呂「りらっくす満天」、別棟にある大人の女性専用「りらっくす蔵」で楽しむことができる。

「りらっくす蔵」は、明治時代の古民家を再生。エステも楽しめる癒しの施設。浴場は、土蔵の重厚な漆喰の壁や艶やかな梁、高い天井を生かした。エステは、庭を望む和室でプチリフレクソロジーから本格的なストーンセラピーまで充実の内容。

また、男性専用の露天風呂「りらっくす満天」は、高山の町並と宮川のゆるやかな流れが一望。満天の星の下での湯浴みが楽しめる。

▽岐阜県高山市本町1―34。☎0577・34・1234。http://www.honjinhiranoya.com/

大人の女性専用「りらっくす蔵」

静岡県・観音温泉

飲泉、自家源泉かけ流しの秘湯 観音温泉

伊豆・奥下田の閑静な秘湯

「飲泉、自家源泉かけ流しの宿」観音温泉(鈴木和江社長)は、伊豆半島・奥下田の閑静な山間に位置する秘湯だ。昭和38年、同館創立者が夢枕に現れた観音様のお告げを受けてこの地を掘削したところ、湯量豊富な温泉を見事掘り当てたという逸話が残っている。

伊豆半島に位置する観音温泉は、フィリピン海プレートに乗って、はるか南の海から日本列島形成に参画した唯一の地塊なのだ。このプレートと、中央～西日本を形成しているユーラシアプレートとの出会いによって、富士・箱根・伊豆諸島に続く火山帯が形成された。

伊豆の語源とされる「湯出づ」、温泉もまた地球の営みの賜物である。大地のエネルギー・気は地中でその出番を待っていた。まさにその破砕帯(断層)から湧き出る源泉は神秘的なものだ。

泉質はpH9・5の強アルカリ性単純泉で、超軟水。その成分から、人の肌をすべすべにする美容効果や、筋肉痛、腰痛、リウマチなど様々な疾病への効果があるといわれている。

温泉は入浴だけでなく飲泉もできるのが大きな特徴だ。「人の血液は弱アルカリ性を保っているが、現代人は肉や糖分のとり過ぎ、偏食、疲労で酸性に偏る傾向がある。この温泉を飲用することで体を弱アルカリ性に変え、毎日摂取することで体調バランスを整える」という。

観音温泉の宿泊棟「ピグマリオン」「本館」「正運(せいうん)館」「離れ産土(うぶすな)亭」と、温泉棟「大総檜風呂(ガラティア)」は、いずれも自家源泉(毎分600トン)をかけ流しで使っている。

「ピグマリオン」は18室すべてが源泉かけ流し露天風呂付き。「本館」は浴槽、床、天井に檜をぜいたくに使った源泉かけ流し半露天風呂付きや、足湯付きの客室を備える。「正運館」は自家製天然檜の香りがかぐわしい源泉かけ流し庭園檜風呂付き。「離れ産土亭」は同館発祥時の館、源泉かけ流しの大浴場「ひょうたん風呂」「乙女風呂」がある。

温泉棟の「観音之湯ガラティア」は、檜をふんだんに使った「大総檜風呂」、昼間は天城連山の緑、夜は星空を楽しめる「星空の満天露天風呂」、マッサージ浴の「アメリカンスパ」を備えている。

同館は、この飲める温泉を商品化(飲む温泉観音温泉)しており、ホームページなどで広く販売している。商品は国際食品コンテスト「モンドセレクション」に今年度初出品したところ、見事に金賞を受賞した。

▽静岡県下田市横川1092―1。☎0558・28・1234。http://www.takinogawa.net/onsentop.html

露天風呂

客室風呂も充実

富山県・宇奈月温泉

延楽

渓谷一望の絶景露天

黒部渓谷の観光拠点、富山県宇奈月温泉の延楽(濱田政利社長)は、渓谷を一望できる3つの絶景露天風呂が自慢だ。

黒部渓谷の岩を組み上げ、自然をそのままイメージした岩風呂。清流が眼下に広がり、風情あふれる檜の露天風呂。男女入れ替え制なので、1泊の滞在で両方の湯を楽しめる。さらに今年4月には、総檜の露天風呂「華の湯」がオープンした。

大きな窓の向こうにある自然の眺望を楽しめる大浴場も24時間オープンしている。

弱アルカリ性、肌触りが柔らかく、疲労回復、神経痛などに効果があると言われる温泉は、正保2年(1645)の発見から、深山幽谷の隠れ湯として長く利用されてきた。宇奈月の温泉街は大正時代の黒部川電源開発に伴い誕生。以来、庶民や多くの文人墨客に愛される、北陸を代表する一大温泉地に発展した。

檜の湯船に、入浴リフトを備え付けたバリアフリー対応の客室も好評を博している。

▽富山県黒部市宇奈月温泉347―1。☎0765・62・1211。http://www.enraku.com/

華の湯

京都府・湯の花温泉

松園荘 保津川亭

新しい大浴場棟で湯遊び

松園荘保津川亭は、京都の奥座敷湯の花温泉にある和風旅館。きめ細かい、温かみのあるおもてなしで旅客を迎える。洗練された施設、京の旬の料理も好評の宿。自慢の温泉は、単純放射能泉で、湯量も豊富。良質な温泉は、今年4月に完成した新しい大浴場棟「湯遊び処」で満喫できる。

大浴場棟のコンセプトは、「緑の中の湯遊び処」。敷地面積は、1569・35平方メートル。同旅館の敷地内にある里山部分の一部を開発した。2階建てで、1階には、バリアフリータイプの家族風呂とエステルーム、岩盤浴。2階には、大浴場、露天風呂、ミストサウナ、薬湯、足湯、能舞台、湯上り処を用意。

大浴場「大黒の湯」は、ゆったり楽しめる大きな浴槽と、スパ感覚の多彩なジャグジーバスが特徴。男女ともに126平方メートル。ともに主浴槽に加え、ジェットバス、ジャグジーバスがあり、さらに男性大浴場にはバイブロバス、女性大浴場にはミルキーバスがある。浴室と浴槽には御影石を、床には水切れのよい磁器質タイルが採用されている。

露天風呂は、男女それぞれ庭も含め約400平方メートル。庭に高さ5メートル幅10メートルの大滝が配され、水しぶきと川のせせらぎを楽しめる。御影石の石風呂、緑の中に檜の香りただよう檜風呂、四季折々を感じられる薬湯がある。ミストサウナは洋風で、ルーム内に噴水もある。

家族風呂(福祉風呂)は2タイプある。洋風の「ほっこり」は広さ68平方メートル。和風「和み」は広さ90平方メートル。それぞれ、内湯と露天風呂がある。

湯上り処は、木を基調としたぬくもりのある空間。日本の伝統芸能「能」や「歌舞伎」を楽しめる大きさは約15平方メートルもある、本格的な能舞台がある。舞台のまわりには、一度に8人が利用できる足湯もある。

▽京都府亀岡市湯の花温泉。☎0771・22・0903。http://www.syoenso.com/

新たな大浴場「湯遊び処」

吹き抜けのフロント・ロビー